

育てよう！市民のくらしを守る公共交通

～市民・行政・事業者 三位一体で地域の公共交通を支える～

四日市市の取り組みについて

20

四日市市の概要



- 人口：312,654人
(平成27年7月1日現在)
- 面積：205.58km²
- 特例市、保健所政令市



- 国際拠点港湾 四日市港
外貿コンテナ取扱貨物量
193,531TEU
(全国10位・平成25年)
- 製造品出荷額
約2兆6,849億円
(全国11位・平成24年工業統計)





ものづくりのまち “四日市”



日本のシリコンバレー 東芝四日市工場



臨海部 石油コンビナートの夜景

四日市市の鉄道路線網図



四日市市内の鉄道路線

7路線

四日市市内の鉄道駅

34駅

四日市市のコミュニティバス



自主運行バス路線

①山城富洲原線

キロ程 20.1km
運行本数 5往復
運行時間帯 7:37~18:23
停留所数 29箇所

②神前高角線

キロ程 11.1km
運行本数 平日7往復
休日6往復
運行時間帯 7:02~18:13
停留所数 19箇所

③磯津高花平線

キロ程 14.6km
運行本数 13往復
運行時間帯 7:05~19:34
停留所数 34箇所

生活バス よっかいち

キロ程 11.5km
運行本数 4.5往復
運行時間帯 8:00~18:52
停留所数 34箇所

山城富洲原線

三岐鉄道運行委託

生活バス四日市

三重交通運行委託

神前高角線

三重交通運行委託

磯津高花平線

三重交通運行委託



四日市あすなろう鉄道の概要



762mm(ナローゲージ:特殊狭軌線)



● **駅数 9駅**
無人駅 7駅
有人駅 2駅



マッチ箱のようなかわいい電車

四日市の交通と街づくりを考える会提供写真

近畿日本鉄道時代の内部・八王子線



- ◆通学・通勤を中心に、**約360万人/年**の利用者
- ◆努力しても、**毎年3億円弱の赤字**
- ◆車両等の**施設老朽化**⇒継続運行には設備投資が必要

.....今後どうしていくのか？

鉄道の存続・廃線？！ まちづくりをどうする？！



鉄道存続に向けた多様な動き

◆地域・沿線学校等による鉄道存続署名活動

署名総数 172, 144人

◆市議会に「総合交通政策調査特別委員会」設置

◆NPO団体やボランティアによる利用促進活動

◆地元住民によるワークショップ



四日市 近鉄内部・八王子線

存続望む声 街にあふれる

廃線問題で揺れる四日市市の近鉄内部・八王子線をめぐり、存続を望む沿線住民らが両線の利用促進を呼び掛けようと、多彩な催しを繰り広げている。25日には、鉄道愛好家らでつくる四日市市のNPO法人「四日市の交通と街づくりを考える会」は小古留駅構内で花の植栽をした。（山口登史）

駅で花植栽 利用促進PR

公共交通の重要性を理解してもらおうと初めて企画。会員と近隣八人が通学に利用している、少に伴い、この四年間は「二年島田恵さん」の三億円弱の赤字を毎年計は「通学以外でも利用」上。近鉄は来夏をめどに「地域のニーズは高いので、存続に向けて努力し」ていく。何となく残しては定で、市は経費の六分の「一」と話していた。一に当たる二億五千万円を補助する計画だった。しかし今年一月、近鉄二〇〇九年度は約三百六十四億八千九百六十万円の赤字が「運営費の補助もない」土万となっている。

西日野駅 高校生らが清掃も

駅構内にプランターを並べたり、清掃したりする生徒たち＝四日市市西日野の西日野駅で

この日は、みえ歴史街道構想四日市地域推進協議会と四日市地域防災協議会事務局が主催し、近鉄八王子線沿線をめぐり、沿線の商店も存続を望んでいる。利用促進市市小古留は「駅がきれいになって良かった」と笑顔。

日本駅前朝市会場近くでヒマワリ植栽活動を続ける「大瀬子町」は、町会と地域の力を合わせて、八月三十一日まで、乗車証明書が定期土をふが、せた。育む会を提示すれば、料金の井上誠二会長は「四日市市日永」は「多数の飲食店などと同様の取り組みが検討されている」。

内部・八王子線存続問題では、近鉄と存続を望む四日市市の間で協議が進められている。考える会の一野理志理事長は「駅だけでなく鉄道沿線にも魅力はたくさんあるので、まずは電車に乗ってほしい」と訴えている。



存続願い、花で盛り上げ

赤字経営が続く、廃線の危機にある近鉄内部・八王子線（近鉄四日市駅・西日野駅、内部駅）を盛り上げようと、通学に利用する高校生らが十三日、存続を願って四日市市の西日野駅を花で彩る「花いっぱい運動」を展開した。（佐野周平）

廃線危機の近鉄内部・八王子線

八人が通学に利用している、少に伴い、この四年間は「二年島田恵さん」の三億円弱の赤字を毎年計は「通学以外でも利用」上。近鉄は来夏をめどに「地域のニーズは高いので、存続に向けて努力し」ていく。何となく残しては定で、市は経費の六分の「一」と話していた。一に当たる二億五千万円を補助する計画だった。しかし今年一月、近鉄二〇〇九年度は約三百六十四億八千九百六十万円の赤字が「運営費の補助もない」土万となっている。

西日野駅 高校生らが清掃も

駅構内にプランターを並べたり、清掃したりする生徒たち＝四日市市西日野の西日野駅で

と路線の存続が難しい」と市に申し出たため、市は議会と対応を協議中。都市計画課の担当者は「市民が納得できるような、近鉄のさらなる経営改善が前提」とした上で「地域のニーズは高いので、存続に向けて努力し」ていく。何となく残しては定で、市は経費の六分の「一」と話していた。一に当たる二億五千万円を補助する計画だった。しかし今年一月、近鉄二〇〇九年度は約三百六十四億八千九百六十万円の赤字が「運営費の補助もない」土万となっている。

公有民営方式

平成27年4月1日から



平成27年3月31日まで

出資
市25%
近鉄75%

民営 四日市あすなろう
鉄道株式会社

第二種鉄道事業者

【鉄道施設・車両を借り受けて運行・営業業務を行う】

利潤

損失

鉄道施設・車両
・土地を無償貸与

市へ
拠出

市が
支援

近 鉄

第一種
鉄道事業者

公有 四日市市

第三種鉄道事業者

【鉄道施設・車両を所有】

鉄道施設・車両を
無償譲渡
土地を無償貸与
(公租公課免除)

補助、財政支援

国・三重県

四日市市地域公共交通**網**形成計画



基本理念

育てよう！市民のくらしを守る公共交通

基本方針

- コンパクトなまちづくり、団地・郊外部の維持、「環境先進都市」といった市の目指すまちづくりを支える『**公共交通の維持・活性化**』
- 便利で安心して利用できる持続可能な『**地域公共交通網の構築**』

※特に、存廃問題が顕在化した内部・八王子線については、その持続可能性を追求します。

※公共交通網の構築にあたっては、地域、交通事業者、行政それぞれが主体的に取り組めます。

- 日常生活の中で地域公共交通を利用したくなる『**サービスの提供と雰囲気づくり**』

鉄道事業再構築実施計画による負担



平成27年度から平成36年度までの10年間

- ◆ 四日市市 **約20億円**
鉄道施設・車両の更新保守費等
- ◆ 国・三重県 **約10億円**
設備投資等に対する補助金
- ◆ 近鉄 **約17億円**
一次負担金・資産無償譲渡等
- ◆ 利用者 **運賃値上げによる負担増**

三位一体で支え合う鉄道へ

盛り上がる市民の取り組み

ボランティアによる花植え、清掃など
市民主体で地域に必要不可欠な鉄道へ

